

校訓：清心 自学 実践

重点目標「互いの良さを大切にして、自分らしく生きる力の育成」

**努力できる2学期にするために**

2学期がスタートして1週間ほどが経ちました。1学期同様、2学期も矢田中学校には、毎日お子様のさわやかな挨拶、元気な笑顔、周りの友達を思いやりながら、自分らしく活動する姿であふれています。お子様の姿から、充実した夏休みだったことがうかがえます。充実した夏休みを過ごしたお子様のさらなる成長を願い、2学期の始業式で、以下のような話をしました。

パリオリンピックで様々な選手が活躍する中、先生は、スケートボードの男子ストリートで金メダルを獲得した堀米選手の活躍が印象的でした。堀米選手は、1回目は技が成功し、まずまずの得点を得たものの、2回目、3回目、4回目と失敗し、残る5回目にビッグトリックを成功させて、金メダルを獲得しました。金メダル獲得後のインタビューで、5回目を行う前の心境として「1%の可能性を信じてやろうと思った」と語っていました。

では、なぜ「1%を信じること」ができたのか。それは、これまでの努力を積み重ねてきたからだと思いますし、苦しい状況を何度も乗り越えてきたからだと思います。その努力があってこそ、自信をもち、大舞台で1%の可能性を信じて、チャレンジできたのではないかと思います。皆さんも、この夏休みを含め、これまでに様々なことに努力してきたと思います。2学期も努力を積み重ね、自信を少しずつ高めていきましょう。それが良い結果につながっていくと思います。

**夏休みにあった、矢田中生の活躍**

「夏休みにあった“矢田祭”に、ボランティアとして矢田中生が運営に携わってくれて、とてもうれしかったです。」と矢田祭を運営している地域の方から温かいお言葉をいただきました。地域の方は、中学生がボランティアとしてお祭りの運営に参加してくれたおかげで、お祭りに活気が出たし、地域としての輪も広がったので、とても感謝しています。」とおっしゃっていました。

後日、ボランティアに参加したお子様に話を聞きました。すると、矢田祭を運営されている地域の方が感じていたことと同じように、ボランティアに参加したお子様も、参加できたことをうれしく思っている様子でした。

あるお子様は、「ボランティアとしてお祭りの運営に参加することで、これまでお客さんとして参加したときには気付かなかった仕事がたくさんあることが分かった。そして、これまで陰で仕事をしてくださっていた人に感謝をし、来年もボランティアとして運営側に参加したいと思います。」と話しました。また、別のお子様は、「ボランティアとして参加することで、一緒にお店を運営した地域の人たちと交流でき、とても楽しかったです。また、お祭りが終わった後の達成感を味わうことができ、うれしかったです。」と話しました。

このように、矢田中のお子様は校内だけでなく、校外でも活躍している姿をとても誇らしく思います。そして、2学期も全てのお子様は校内外で自分らしく活躍できるよう、日々の教育活動に励んでいきたいと思っております。2学期も本校の教育活動にご理解・ご協力お願い致します。

**保護者の皆様へ**

2学期に行われる行事では、当日はもちろん、その過程でお子様は大きく成長していきます。ぜひ、保護者の皆様にも行事に参観いただき、お子様一人ひとりが「自分のよさ」を成長させ、発揮させる場面を見ていただければ幸いです。

また、長期休業明けは、不安や悩みを抱えるお子様が増えると言われていています。学校でもお子様の様子を注意深く見守ってまいります。ご家庭でも、お子様の様子でお気付きのことがありましたら、ご連絡ください。2学期もご家庭と一緒に、お子様を見守っていききたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



校長が該当生徒から話を聞いている様子